

講義名	対) ネットコミュニケーション		
担当教員	福井 誠		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	2
主題と概要			
<p>古代から人間はメディアを介してコミュニケーションを行ってきた。その後、技術革新とともに様々な電子メディアが出現し、さらにごく最近になってインターネットが出現したことで、コミュニケーションの可能性は大きく広がっている。しかし従来経験したことのないツールであるがゆえに、効果的な利用も可能な反面、危険性もあるといえよう。この講義では、メディアの歴史的な展開を振り返り、そのあとでネットコミュニティ、ネットコミュニケーションを支えるインターネットサービスを紹介する。講義を通してネットコミュニティやコミュニケーションの効果的な利用について考える機会にしてほしい。</p>			
到達目標			
<p>さまざまなメディアの特性が理解できる。 それらの特性を理解した上でメディア特性に応じた利用ができる。 電子メディアを利用したコミュニケーションの優位性と弱点が理解できる。</p>			
提出課題			
授業内レポートを5回程度実施する予定です。対面の場合にはレポートを出題しない回数、出席をとりず。			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
レポートの評価については講義の終盤に公開する			
評価の基準			
<p>期間中に講義内レポートを5回程度実施する。これと出席結果をあわせて評価する。レポートはABCの3段階で実施する（そのため提出を毎回しても合格点に達しない場合があるので注意されたい）配点は公開しない。 期末試験は実施しない。</p>			
履修にあたっての注意・助言他			
<p>【この欄は確実に読んでおくこと】 オンライン、対面に関わらず諸連絡やレポートの提出はRyukaPortalにて行う。 このあたりの詳細については初回の講義連絡と初回のガイダンスをしっかりと確認しておくこと。</p>			

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
RyukaPortalから適宜配布します				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 認知の関与 認知の差 NVC（ノンバーバルコミュニケーション） 売上 暗号 3つの方向 通信とコンピュータの歴史 インターネットの歴史 ブロックチェーン フェイク1 フェイク2 流通情報 流通情報 レポート出題 				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
講義で紹介したサービスについては自分で体験してみる。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
2020年度は、入力不要				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
講義中に質問は随時受け付ける。				
実務経験の有無及び活用				
実務経験あり。IT産業やユーザ企業の情報化コンサルティング経験を活かし実際のケースなどについて言及する。				
備考				